

進路ニュース

2022年度 6月号 No. 284



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

目標達成に向けて、今こそスタートの時です

3年ぶりの「湖北祭」が、来る6月16日（木）に行われることになりました。新型コロナウイルス感染対策の観点から、以前のようなスタイルでは実施できないものの、皆さんはクラス一丸となって発表の準備に取り組んでいることと思います。高校時代の思い出は一生の宝物です。学習はもちろん、部活動や生徒会活動、文化祭やクラスマッチなど何事にも精一杯取り組み、自己を成長させてください。

また、今月末には定期考査Ⅱが実施されます。定期考査Ⅰの結果を振り返り、試験に備えてください。

【3年生へ】

就職関係では、公務員試験の申し込みが始まります。また、民間企業の求人票公開を翌月に控え、企業の採用担当の方の訪問も増えてきます。常にアンテナを高くして確実な情報を入手できるように心がけてください。（裏面には、就職関係の情報を掲載しています。）

進学関係では、総合型選抜のエントリー受付が開始されます。模擬試験も毎月実施されるようになります。今までは部活動があつて家ではほとんど勉強できなかった人や、授業は一応理解していたが復習が不十分であまり成績が伸びていない人は、夏休みに向けて気持ちを切り替え、志望校への現役合格を目指して今こそスタートをきってください。

【1・2年生へ】

定期考査Ⅰに対する取り組みと結果を振り返り、自己の学習習慣や教科・科目ごとの弱点を分析し、次の考査や模擬試験に備えましょう。また、過日行われた「スタディーサポート」の結果を確認し、自分はどの教科が、あるいはどの分野が理解できていないのかを把握して、今のうちにフォローしておきましょう。

そして、部活動がある人もない人も、毎日の時間の使い方を工夫してさまざまなことに精一杯努力してください。

《 6月の進路関係行事 》

11日（土）	土曜課外	（1～3年）
17日（金）	公務員講座	（1～3年）
	進路分野別ガイダンス	（2年）
24日（金）	進路学習調査①	（1～3年）
	公務員講座	（1～3年）
27日（月）		
～30日（木）	定期考査Ⅱ	（1～3年）



☆ 進路指針が発行されました

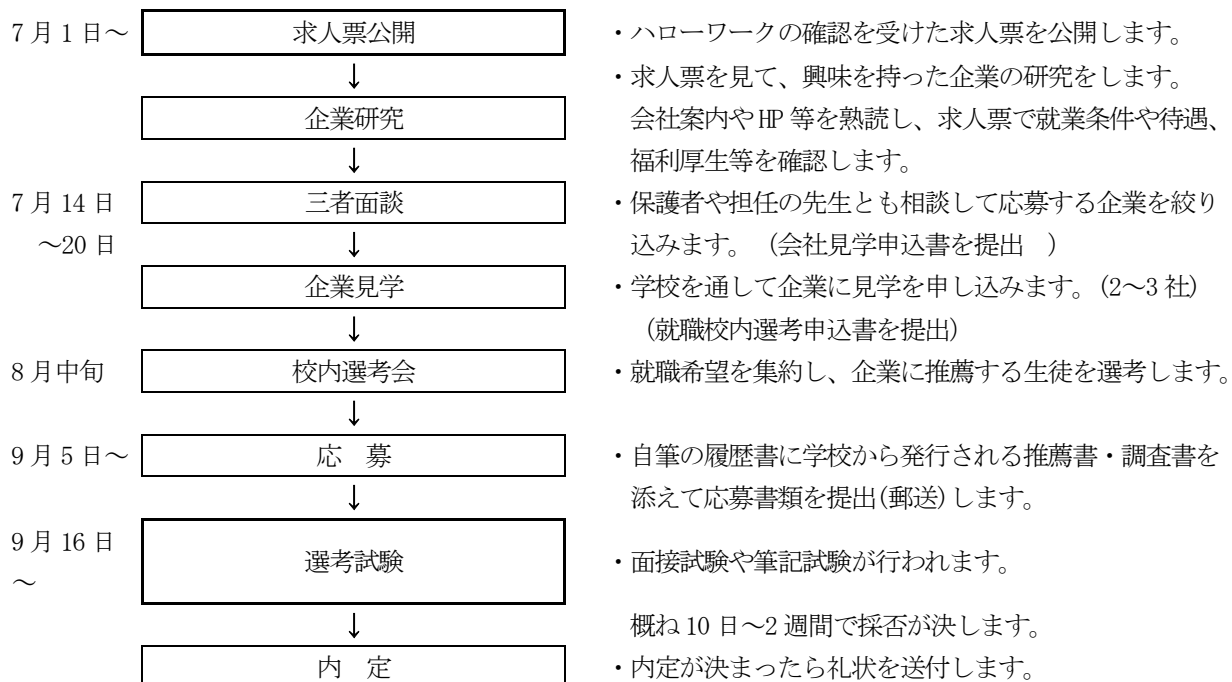
進学や就職など、進路決定までの流れや受験全般、就職・公務員試験に関する情報、各種データや卒業生の合格体験記などを掲載した「進路指針」が発行されました。よく読んで様々な手続きや心構えを知るとともに進路選択、受験方法選択の一助としてください。また、資料の卒業生の可否状況からは、受験や就職の厳しさが見て取れます。合格体験記からは、授業の大切さや1日も早く本気の取り組みを開始することの大切さが伝わってきます。高校3年間の過ごし方次第で自己の将来が大きく変わります。皆さんも、進路を切り開いていった卒業生の取り組みを参考にしてください。

【就職希望者へ】

7月1日より、高校新卒者への求人票が公開されます。今年度は、全国各地の多くの企業の求人状況が、新型コロナウイルス感染拡大以前の状態に戻りつつある見通しのようです。また、例年本校に求人票を送ってくださる県内の企業からは、今年度も求人状況は概ね例年通りだと伺っています。就職希望の皆さんは、今のうちに希望する業種・職種などを十分に検討し、求人票の公開に備えてください。進路指導室では、参考のために昨年度の求人票を閲覧することができます。また、下記の「就職内定までのスケジュール」をよく見て、就職活動の流れを理解しておいてください。さらに、企業の研究不足や思い込みによるミスマッチのないよう、自分に合った企業や仕事内容を見極めることが必要です。ハローワークのジョブサポーターや就職指導担当の先生の話聞き、求人票の見方にも慣れておきましょう。

○就職内定までのスケジュール

《求人票公開から就職内定まで》



○面接試験で問われるものは

面接試験で見られるのは、その人のコミュニケーション能力や協調性、基本的な生活態度であり、学力試験や適性検査では知ることのできない人柄や意欲、今後の可能性といった面が評価されます。企業にとって社員の採用は大きな投資であり、いかに有為な人材を採用できるかどうかには社運がかかっているわけです。皆さんは人を見るプロの面接を受けるわけですから、あわてて準備をしても満足な対策ができるものではありません。言葉遣いや身だしなみ、マナーなどは普段から気をつけておきたいものです。また、志望理由とともに高校生活で頑張ったことや感動したこともしばしば質問されています。学習はもちろん各種検定試験に積極的に挑戦し、部活動やボランティア活動などにも真剣に取り組んで“引き出し”を多くしておいてください。面接試験は自分をアピールするチャンスです。練習を繰り返し行い、面接官に良い印象を与えるとともに、質問に対しては自分の言葉で明るくハキハキと答えられるようにしておくとよいでしょう。